

日本一遅い花火大会と 日本一早いハロウィンを楽しもう!!

十月十五日(土)に行われる恒例の花火大会が、今年で十周年を迎えます。十周年を記念しての催しも用意し、花火にも特に力を入れた企画になっているとのこと。

●**実行委員長の菅野さん、副委員長の東泉さん、綱川さんにお話を伺いました。**

●十月にやる花火大会

まず場所の問題ですね。尺玉を上げるには、半径二〇〇メートルの場所が必要です。稲の収穫が終わった田んぼを借りるとなると、やはり十月になってしまいます。

●開催するにあたっての準備

準備は、毎年四月からやっています。一五〇〇万円くらいかかるので、寄付集めも大変です。それから、田んぼの持ち主の方々から使用許可や警察署の道路使用や通行止め

の許可をいただきます。

消防署の方、警備員、市役所職員、そのほかたくさんの方々がボランティアの方々(百五十〜百六十人位)、本当に多くの方々の協力で成り立っています。

●今回の花火大会は、また目玉は

花火でいえばナイアガラですね。いつもより十五パーセントくらい多く花火に

お金をかけています。金太郎玩具店が企画をし、県内の二十数名の花火師さんを指揮して、一万発の花火を上げるのですが、花火の見せ場を三つ作って工夫したり、音楽に乗せて上げたりしています。

いつものメッセージ花火もありますよ。申し込みは多数ありますが、二十発に限定させてもらっています。

出店関係は商工会関係で二



東泉さん 実行委員長 菅野さん 綱川さん

●十年も続けてこられたのは一つの事業は継続していか

なければと思っ
ています。それ
には、誰かが責
任を持ってやら
なければなりま
せん。十回目と
もなれば市民へ
の認知度も高ま
り、皆さん楽し
みにしていきま
す。もちろん
市の方でも応援
してくれていま
すからね。そう
です。

●最後に

花火の終了翌日には、三百名以上の方々に清掃活動に協力していただいています。市民の皆さんもゴミは持ち帰るなど、マナーやルールをきちんと守って楽しんでくれると嬉しいです。

我々はそれぞれ市内で事業を
しているの、皆さんに喜んで
もらったり、子どもたちの
良い思い出作りにしたいとい
う、市民への感謝の気持ち
が根底にあるのだと思います。

また、花火を楽しみにして

いるという年賀状を
いただいたり、花火
を見に里帰りをす
る方、花火大会が縁で
結婚された方もいる。
そんな事実にも励ま
され、続けてこられた
のかも知れません。

(R・K)

マナーやルールをきちんと守って楽しもう!!